

長野県松本市島立（町区）方言の副助詞

沖 裕子

I. はじめに

- ① 対象地の地理的環境：松本市中心部から国道158号線で約5キロほど西に行ったところ。安曇平へと続くひろがりのある平らな土地にある。最近では、中央高速道路のインターチェンジが、集落の東約1キロほどのところに出来、158号線は松本市へのアクセス道路として使われるようになった。旧町名は、東筑摩郡島立村町区。昭和29年に合併して、現在は松本市島立となった。106戸の集落がまとまって位置している。以前は米作農家であったが、現在は専業農家が4割ほど、あとは兼業農家である。松本駅から、松本電鉄島々線が1時間に1本（ないし、2本）走っており、その電車で10分。
- ② 調査年月日：1998年6月16日
- ③ 方言話者：亀井規素子氏 昭和5年2月18日生（68歳）
言語経歴：移動歴なし。数代前からの造り酒屋である亀田屋に生まれ、育った。
- ④ 調査者・調査場所：沖 裕子。話者自宅。
- ⑤ 調査方法：統一調査票による質問調査。

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A 添加

1. 雨だけでなく風さえでてきた。○アメダケジャ ナクテ カゼモ フイテキタネー
（「カゼサエモ」はあまり言わない）
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。○コトシワ ホーサクデ オコメバッ
カジャ ナクテ ムギモ ヨク トレテルワネ。

B 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。○ショーガクセーデサエ カンタンニ
ワープロヲ ツカッテルノニ。
4. （宝くじが）当たると思っていなかっただけに嬉しい。○アタリッコ ナイト {
①オモッテタノニ②オモッテタニ} アタッテ ウレシーネ。

C 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。○マガ アリャ ツリニ イッテル。

D 例示

6. まあお茶でも飲んでください。①マー オチャデモ ノンデキマショ。/②マー
オチャデモ ノンデ ユックリシテ チョーダイ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。○オミヤゲニ コノ オマンジューナン

カ ドーカネー。

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○トビアガルホド ンット ウレシカックタ。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マサカ ソコマデ ハナシガ イクトワ オモワナンダヨ。
10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ナグックタリ ケックタリ スゴイ ラン ボー ヤックタヨ。(「ナグルヤラ ケルヤラ」はあまり言わない。)
11. 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ワタシニデモ ソーダン シテクレ リャ ヨカックタノニ。
12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサイナンテ イックラデモ デキルンネ。

一對の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○オショ^ーユモ オミ^ソモ ツクッテ イタンネ。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ワタシカ オトートガ テツダイニ イク デネ。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。 ○ソ^ンチョーダッテ ソーヤルヨ リ ショーガナカックタデショ^ー。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハ^ルラシク ナッテ ウメモ サクラ モ イチドニ サイチャックタネ。

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テ^レビモ ソロソロ カイカエナキャ イケナ イネ。

やわらげ

18. まあお茶でも飲んでください。 ①マ^ー オチャデモ ノンデキマショ。 / ②マ^ー オチャデモ ノンデ ユックリシテ チョーダイ。

E 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ①オ^ボンニワ コヤ マゴガ カエツテクル。 / ②<誘導>オ^ボンニワ コドモヤ マゴナンカガ カエツテクル。

F 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲ^ートボールダッテ デキルヨ。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。 ○イ^ー コトッテ ナンダイ。

極端なものの提示

22. そんなこと子供でもできるよ。 ○ソ^ナナ コト コドモニダッテ デキルジャン。
23. 食べることにくらはいは何とかしたい。 ○タ^{ベル} コトグライ ナントカ シナキヤ^ネ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナマエダッテ ロクニ オボエテナイ。
25. 弁当代に千円もかかった。 ○オベントーダイニ センエンモ カカッチャッタ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレサエ アリヤ モー ダイジヨブダンネ。
- (2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあげた。 ○リョ^{コー}デ ミツカバカ ウチ アケチャッタ。
28. 茶碗に半分くらいください。 ○オチャワンニ ハンブンクライニ シテクダサイ
29. 子供でもわかるくらいのやさしい本だ。 ○コドモダッテ ワカルクライノ ヤサシ^ー ホンダネ。
30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 {①イッシュューカンバカリ②イッシュューカンバカ} ルスニ スルデ タノムワネ。

H 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コトシノ サムサワ キョネン ホドジャ ナイワネー。

I 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○チョット ユダン シタラ トンデモナイ コトニ ナッチャッタ。

J 「それにふさわしく」

33. 苦勞しただけあって人間ができている。 ○クロー シタダケ アッテ アノ ヒトワ ヒトガ デキテルワネ。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○マインチ マゴノ モリヤナンカデ イソガシクテ。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○マーズ {①ソレコソ②ソレッコソ} バケツ ヒックリカエシタヨーナ オーアメサネー。

「～ばかりか」

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○チチバカジャ ナクテ ハハモ ウンドーガスキダッタ。

K 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー タベルバックカニ シテアルンネ。

動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ シゴトカラ カエツタバッカダ。

基準

39. 駅までもうちょっとだ。 ○エキマデ モー チョットダ。

L 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズツ ヨンデ ハナシヲ シタンネ。

M 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ フタツズツ ミカンヲ ヤル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○オサケワ タマーニシカ ノマナイ。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケサ ネボー シチャッテネ パンダケ
タベテキタ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ソシナニ ベンキョー {①バカリ②
バカ ③バッカ} シテリヤー カラダ コワス ヨ。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 {①ウチノ タンボッキリ ノ
コッチャッテ②<誘導>ウチノ タンボガ ノコッチャッテルキリデ} ヨソワ ミ
ンナ スンジャッタワヤー。

O 強調

46. もうこれだけしかないよ。 ○モー コレッキリ ナイヨ。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コトシコソ イー トシニ シタイモンダネー。

P 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ○コレダケ イッテモ ワカラナイダカネ。

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエンクライマデナラネー ナントカ
ナルケドネ。

(4) 陳述的なもの

Q 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○ヒリョーワ ヤレバ {①ヤルダケ ②ヤルホ
ド} イー ハナー デキルネー。

「仮定・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンバイ スルデコソ ミンナ イウダンネ。

「こそ・仮定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アノ ヒトワ モンクコソ イ
ウケードモ ヒトノ イウ コトワ キカナイ ヒトダ。

53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 ○(しない。聞か

ない。)

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○オシテモ ヒーテモ ウゴカナイ。

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○(このような言い方をしない。聞かない。)

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いてた。 ○イマデコソ ソトエ アンマ
リ デナク ナッタケード ムカシワ ヨク アソンデ アルイタ。

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ○ハタラクヤ ハタラクホド モーカルワネー。

R 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソソチョーサンニ キクマデモ ナイ コトセ。

否定との呼応

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサカラ イソガシクテ オヒルモ タベラレ
ナンジャッタ。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 {①コンナ モノ イクラデモ アルワ。②コ
ソナモンナンカ イックラデモ アルワ。}

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダレダッテ ソソナ コト イワレ
リヤ オコルヨ。

S 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○ジューネンモ マエニ フ
ルサトヲ ハナレタッキリ イチドモ カエッテ コナイヨ。

(5) モダリティー的なもの

T 不確かな気持ち

63. いつものやら眠ってしまった。 ○イツノマニカ ネムッチャッタ。

64. 何のことか分からない。 ナソノ コトダカ {①ワカラナイ。②ワカリヤ シナ
イ。}

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○アトデ アソビニ イクカモネ。

どちらか分からない

66. 来るのか来ないのかよく分からない。 ○クルダカ コナイダカ チットモ ワカラ
ナイ。

はっきり言わない

67. どこやらへ引越したそうだ。ドッカエ ヒッコシタ {①ソーダ^ンネ。②ソーダ^ヨ。}

U 非難68. お父さんたら今日も遅いのね。○オト^ーサンタラ キョ^ーモ オソイダ^ヨ。

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。○ {①オト^ーサン^ッテバ^ー②オト^ーサン^ッテバ[}] コドモノ^ヨーナ コト イ^ッテ。(そこに本人がいない場合。「オト^ーサン^テヤ^ー コドモノ^ヨーナ コト イ^ッテルヨ。」)}

Ⅲ. 総括(まとめ)

「ばかり」は「バカ」のように「リ」が脱落するか「バッカ」のように促音化する。また、「きり」も「ッキリ」のように促音が挿入されることがある。

「さえ、やら、とて、など、だけ」の一部の用法は、共通語のなかでも文章語的な語感がある用法である。(本調査票項目では1、4、14、15等々はその例であろう。)これらの副助詞は使用形式として当方言話者も所有しているが、そうした文章語的な語感が伴う調査票用例には、当方言の表現法が答えられている。

(おき ひろこ・信州大学人文学部)